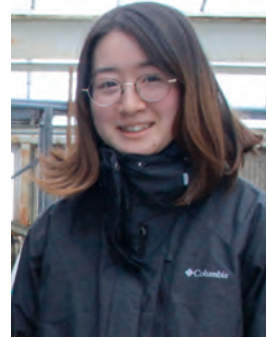


# 地域おこし協力隊の生活や仕事を体験

## インターンを体験した松井さんの活動を振り返ります



まつい みずき  
松井 瑞嬉 さん  
酪農学園大学 3年

美深町の皆さんこんにちは。今回、地域おこし協力隊のインターンとして、2月7日から22日までの期間、チョウザメ事業を体験させていただきました。私がインターンに応募したきっかけは、大学で獣医学を学んでいて、魚の病気を学び養殖現場に興味を持ったことや野生生物との共生や鳥獣対策に関心があること、将来は身近に自然がたくさんある場所に住みたいと思い、今回のインターンでそれらの経験が得られると思いい応募しました。

活動では、キャビア作りとチョウザメをおろす作業をしました。キャビア作りでは、キャビアを塩水に浸しながら脂肪などを除去する作業や、キャビアを瓶に詰める作業をしました。人生で初めて本物のキャビアを見て、塩水に漬けた後のキャビアの輝きには感動しました。また、キャビアの味や食感、色が黄緑やグレーであることは魚種によって異なることが分かりキャビアの奥深さを感じました。チョウザメを魚肉として出荷する時は、血抜きをして内臓を取りおろした

状態にしますが、私は主に内臓を取り出す作業をしました。大学では動物の内臓をじっくり見て触る機会がなかったのでとても勉強になりました。特に、チョウザメの口と髭の間がプルプルして柔らかかったことが印象的で綺麗な鱗も大好きです。この期間でチョウザメの魅力をつつぷりと感じるようになりました。

活動中にお世話になった方は面白い方が多く、町のことや社会人になってからのことなど、たくさんことを教えていただきました。

活動の無い休日は、宗谷本線や名士バスに乗って道北巡りをしました。野鳥観察が趣味なので美深町が道北各地の中間地点というのは鳥好きにとって魅力的な場所だと感じました。

また、エアリアル大会を観戦したり、ロゲイニングに参加して冬のイベントを体験することができました。

これまで地方は人口が減って、活気が無くなっているというイメージを持っていましたが、イベントにはたくさんの方が集まり、和気あいあいとした活気を感じました。

私はインターンに応募する前までは美深町のことを知りませんでした。実際に生活したことでたくさん魅力がある町だと思いました。美深町は四季折々で景色が変わると伺いました。もう一度美深町を訪れたいと思います。

### 農務課からのお知らせ

#### アライグマ対策について

近年、アライグマの市街地への出没、農作業被害が急激に増加しています。

アライグマは繁殖力が強く、納屋などをすみかになります。

また、農作物や家畜飼料を食べるなど悪影響をもたらすとして、特定外来生物に指定されています。

町でも、平成24年に初めてアライグマが発見されて以降、捕獲頭数が増え続けており、令和5年度のアライグマによる農業被害額は、130万円を超えました。

#### ●防除について

町では、貸出期間を設けて、箱わな(捕獲檻)の貸し出しを行っています。貸し出しを希望される方は、農務課農業グループまでご連絡ください。

また、3月26日開催のアライグマ捕獲講習会を受講された方を対象に、わなの購入支援を予定しています。詳細については、後日お知らせします。アライグマ捕獲講習会は、令和6年度も開催する予定です。

アライグマは、春期間(3月～6月)の捕獲が最も効果的とされています。春期間における捕獲の協力をお願いします。

#### 【問合せ先】

農務課農業グループ農畜産係  
TEL 012-1641

